

事業所における自己評価結果(公表)

※児童発達支援

公表:令和4年 5月 3日

事業所名 タクト

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	課題・遊びの部屋を分けることで、スペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	担当者と記録係の職員を配置し、1対1での療育を行なっています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	絵カード等を使ってスケジュールや部屋を構造化しています。	バリアフリー化はできていない面があるため、必要に応じて適切な配慮をしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	療育後に使用した物・部屋の消毒と掃除を行なっています。また、児童に合わせて部屋の設定を変更しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	療育後に必ず振り返りと次回の療育についての話し合いを行なっています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者の方の意見を参考に検討しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	毎年実施しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		現在、第三者による外部評価は行っていません。今後検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	67%	33%	外部研修に参加しているが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、参加ができていないこともあった。	ステラ全体での資質向上のために、勉強会等を再開する予定でです。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	PEP検査の結果を参考に支援計画を作成し、保護者の方の意見を取り入れています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	PEP検査を実施しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	必要項目を選定し計画に反映しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	支援計画と保護者の方のニーズに沿った支援を行うよう心がけています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	記録者などのスタッフも含め、相談しながら課題作成を行なっています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	67%	33%	子どもの特性や課題達成度に応じて臨機応変に対応しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	33%	67%	個別療育のため、集団活動を組み合わせることはありません。	集団療育のステラを利用する際は、職員間で情報共有を行なって支援計画を作成しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	担当者と記録者が事前に打ち合わせをしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	担当者と記録者が振り返りと、次回の療育について話し合いをしています。また、必要に応じて他の職員も話し合いに参加しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	療育時に記録係が記録を付けています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	年に二回モニタリングを行ない、計画の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	担当者や責任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	67%	33%	必要に応じて連携を取っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		現在医療的なケアが必要な児童はいませんが、必要に応じて連携がとれるよう大勢を整えています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		現在医療的なケアが必要な児童はいませんが、必要に応じて連携がとれるよう大勢を整えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	33%	67%	保護者の希望があれば、情報共有を行なっています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	100%	後期モニタリング時に、就学後に必要になる支援を保護者の方にお伝えしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%	研修に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		現在交流の機会は設けておりません。保護者の方から希望があれば検討します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	67%	33%	自立支援協議会には参加はしていますが、新型コロナウイルスの影響により、参加できない会もありました。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡用紙や保護者会、療育時に情報共有を行なっています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	月に一度保護者会を行なっており、子どもとの関わり方等をテーマに話し合っています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に利用者負担について説明を行なっています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	年に二回のモニタリングの際に、支援計画の内容を説明し同意を得ています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	連絡用紙や電話で助言や支援を行っています。また、療育時にも必要があれば助言等の時間を設けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	月に一度保護者会を開催しています。今年度はオンラインでの実施を行ないました。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	体制を整えて適宜行っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	保護者会で話し合ったテーマについて「保護者会だより」を作成し配布しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	鍵付きの棚に保管しています。ステラでの情報を保育園等に伝える際は、内容を保護者の方に確認してからお伝えしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	子どもや保護者に応じて、適宜対応しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	地域の清掃活動等に参加しています。	新型コロナウイルスの影響により、ポポロ祭は開催できていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	0%	100%		保護者の方に周知できていないため、配布用のマニュアルを作成します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0%	100%		シミュレーション等、非常時の対応についてはマニュアルを策定しています。定期的な訓練はできていないため、訓練の機会を設けます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	67%	33%	「やおっこファイル」を使用して、初回の面談時に確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		療育時に食べ物を提供することはありません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットがあった際は、その都度記録共有を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	67%	33%	職員全体で虐待防止について話し合いを行っています。	今年度は研修への参加ができませんでした。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	身体拘束が必要になる可能性のある児童については、支援計画にその旨を記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。